

アウトリーチ報告

担当者： 沼田 栗実

- 目的：
HIV/エイズに関する問題について、イベントなどを通じ、「考える」「知る」きっかけを提供する。
- 経過：
 - ① 2024 年度は、定例で参加している北海道医療大学大学祭「九十九祭」に引き続き参加することができ、ブース出展とステージ発表ができた。また、さっぽろレインボープライドにも参加でき、ブース出展とステージ PR ができた。各イベントの中で、検査についての参加型調査も実施し、ブースに立ち寄ってくださった方々と HIV 検査について考える時間となった。
 - ② ブース出展では、オーガニックハードローション、Findom（指用のコンドーム）を企業様よりご提供いただき、配布した。また、トリップスキン（オーラルセックス用コンドーム）も購入し、ブースで配布した。コンドームもサイズ別、素材別など、種類があることを情報発信し、自分にあったコンドームや方法を考えるきっかけづくりの時間を持てた。
 - ③ イベントでのブース出展だけではなく、ラジオを通じて、HIV/エイズについての正しい知識など情報を提供・発信する事ができた。
 - ④ 前年度に引き続き、さぽーとほっと基金パンフレットラック配架の他、Jazz ライブの受付にて広報資材を配布し、情報を提供・発信する事ができた。
 - ⑤ 全国のコミュニティセンターとのつながりから各地の LGBT パレードや日本エイズ学会においても広報資材の配架を実施できた。
 - ⑥ 札幌市主催「LGBT のための休日即日 HIV 検査」の広報と相談員派遣を行うことができた。
 - ⑦ 2024 度も引き続き、厚労省科研費事業 MSM ALL JAPAN の取り組みに参加でき、一社）にじいろほっかいどうと共催で、講演会「みんなで考えよう LGBT の老後」と「ともだちづくり× HIV/AIDS UPDATE！」の 2 つ企画を運営することができた。
 - ⑧ 世界エイズデー札幌実行委員会、一社）にじいろほっかいどう、さっぽろ 5 リボンズ、WAVE さっぽろ、さっぽろレインボープライド実行委員会、Qwe' re、にじいろスマイル、SOGI mamii' s 等、北海道内外問わず他団体と共に活動できた。

● 結果・効果： 実施イベント等

① イベントについては以下の通り、参加・協力した。

日付	参加イベント・参加スタッフ人数等
5月21日	にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加 1 名
22日	6/1～6/7 の検査普及週間に合わせ HIV の予防や検査についてのおはなし。
6月15日	北海道医療大学大学祭「九十九祭」 ブース出展/ステージ発表
16日	スタッフ参加 3 名
8月31日	Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 2024 vol.2 広報リーフレット配架 100 部
9月10日	にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加 1 名
24日	9/29 LGBT のためのエイズ検査の広報。

9月14日 15日	さっぽろレインボープライド ブース出展 スタッフ参加 5名（当日まで準備も含む）
9月14日	さっぽろレインボープライド関連イベント「よりみち UPDATE」 一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名
9月16日	さっぽろレインボープライド関連イベント「みんなで考えよう LGBT の老後」 一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名
9月29日	札幌市 LGBT のためのエイズ検査会協力（広報・相談員派遣） スタッフ 2名（相談員 1名 準備手伝い 1名）
12月3日	高橋愛紀が贈る SOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella☂@FM ドラマシティ スタッフ参加 2名 世界エイズデーについてのお話。
1月25日	ともだちづくり×HIV AIDS 「苫小牧 UPDATE！」@苫小牧市民活動センター 一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名
3月16日	ともだちづくり×HIV AIDS 「函館 UPDATE！」@はこにじ 一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 2名

- ② イベント参加・ラジオでの発信というアウトリーチだけではなく、ゲイナイトや Jazz ライブ、学会や全国の LGBT パレードブース等で資料の配架により情報発信ができた。
また、イベント時には、広報 T シャツを着用し、ブース対応等を行うことで、情報発信することができた。
- ③ 厚生労働省研究班（MSM ALL JAPAN）の北海道での取り組みでは、「よりみち UPDATE」「『みんなで考えよう LGBT の老後』講演会」「ともだちづくり×HIV AIDS 苫小牧 UPDATE！」「ともだちづくり×HIV AIDS 函館 UPDATE！」の三つのイベントを一社）にじいろほっかいどうと共催で開催することができた。ターゲットを絞った啓発につながった他、札幌市以外でも啓発活動ができた。
- ④ 2024 年度全体を通して、事務局以外のスタッフやヘルプスタッフと一緒に活動ができた。

● 課題：

2024 年度は、例年ブース出展してきたイベントも復活し、北海道医療大学大学祭「九十九祭」と、「さっぽろレインボープライド」のブース出展ができた。主なイベントでの啓発は、この 2 つに限られているので、他に参加できるイベントがないか、アウトリーチの機会を増やしていくことも今後の課題と考えている。

例年、世界エイズデーイベントの広報としてラジオ出演し、イベントの広報だけではなく、HIV の情報を発信してきたが、2024 年度においても、12 月 1 日にエイズデーに限らず、6 月の検査普及週間や 9 月の LGBT のための HIV 検査会に合わせて情報発信ができ、1 年通じて、情報を発信していくことができた。ラジオ出演を調整し、分かりやすく伝えてくれたスタッフに、この場を借りて感謝いたします。今後もラジオ等のメディア配信は引き続き行い、また、オンライン配信（SNS や Youtube 等）等、新しい形でのアウトリーチ活動を検討していく必要がある。そのために、スタッフ増員が急務である。

その他、Jazz ライブや全国の LGBT パレード、エイズ学会等での資料配布ができ、北海道のみならず広く市民向けに啓発活動ができたと考えている。引き続き、資料配布については、より手に取ってもらえるよう、ポスター掲示については協力施設を増やせるよう、活動していく課題がある。

2024 年度も引き続き、一社）にじいろほっかいどうと協力でき、研究班の事業にも取り組めた。

この事業は、一部業務委託として、研究班からスタッフに対し謝礼金をいただいている。前年度に引き続き、研究班の事業に協力いただいたスタッフのみに、交通費以外に謝礼金の一部から手当をお支払いしているので、平等性に欠けないよう、手当基準を見直し、安定的に手当を支払えるようにしていくことが課題であると考え。どのように資金を捻出していくか、アウトリーチ担当と事務局を中心に検討していきたい。

2025 年度も、すでに九十九祭への参加が決定している他、さっぽろレインボープライドの開催が決定し、出店できるよう調整している。また、一社）にじいろほっかいどうとの共催で講演会の実施も計画し、企画を進めている。他団体とも協力しながら HIV/AIDS について基礎的な知識だけではなく、最新情報を含め HIV/AIDS について理解を深められるよう、スタッフ全員で色々な形で情報発信をしていきたい。